

平成 26 年 10 月 8 日

10 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は天候回復で順調となったが、作業の進捗に遅れが出ている現場多い。入荷量は平年並みだが、ヒノキは市況急落の影響から依然として入荷少ない。価格は、製品の需要不振が長引く中で、新材主体の入荷となり、地元大型製材工場の積極的な丸太確保の動きから、全般的には堅調に推移。スギは、柱材は横這い、中目材は強含みに転じ、ヒノキは入荷量少なく、柱材は強含み、中目材は保合で推移。

群馬の製材工場の操業状況は平年並。製品の販売は製品市場への出荷少なく、プレカット工場からの引合い増。製品在庫は少なく一部製品に品薄感。製品価格は変動少なく安定状態。原木は悪天候の影響で集荷困難続くが、秋需に向け出材が増え始めた。原木在庫は少ないが今後増加する見込み。原木消費は順調に推移。秋需に向けてフル生産の状態。

2. 米材

米国産米マツ丸太は日本/中国ともに需要が低迷し、産地に対する引合い弱く、サプライヤーも生産調整を行い価格維持を図っている状況。米国国内向けは堅調。産地港頭在庫は少ない。ウェアハウザー社の対日米マツ IS は、9 月価格据え置き of \$ 850 と推定。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の米材製材工場及び合板工場はともに昨年同期比 15%の減産を継続中。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)9 月の入荷量は 27.5 千 m^3 で前月比 21.8%の増、出荷量は 29.4 千 m^3 で前月比 7.0%減、在庫量は 57.4 千 m^3 で 3.1%減。カナダの SPF 製材品の 1-7 月の中国向け輸出量は、昨年同期比でほぼ横這い。中国の景気後退が懸念される中でカナダ材の輸出は好調。米国の 8 月新設住宅着工数は年率 95.6 万戸で、前年同月比で 8.0%増。米マツ J グレードの 10-12 月の産地価格は角 \$ 470/ m^3 のレベル、ドルベースで横這いなので為替円安分円ベースでは高く、容易に決着できない状況。SPF2×4J グレードは \$ 540/Mfbm 前後で値上げは無い。荷動きは鈍い状況が続く、先行きは期待薄。急激な円安で新たな契約が出来ず、入荷量は絞られる傾向。TLT の在庫量は引続き減少、特に欧州材の減少が目立ち、崩れていた相場が持ち直すことができるか今後要注視。

3. 南洋材

サバは山元の天候が不安定で原木の出材鈍い。雨期到来を見越しインド、中国の買付が旺盛で価格下がらず、日本勢は円安も加わり製材品を含め仕入れが困難な状況。サラワクの原木価格は引続き高値横這い。製材品も中東や近隣諸国向けが順調で、日本向けは冴えない状態が続く。PNG ソロモンは悪天候で原木出材悪く、今後回復の見込みが薄いことを見越した中国が積極的に買いに入り、価格は高値横這い。南洋材丸太の入荷は微減、出荷・在庫は横這い。製材品の入荷は微減。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品の販売は、無垢平割の品薄が続き入荷すれば動き堅調。栈木等棒類も生産遅れが続き品薄。価格は円安も加わり全体的に上昇。

4. 北洋材

ロシア極東はアムール配船の冬切材が終了し一段落。日本の製材・合板メーカーともに原料在庫は潤沢で引合いは弱い。中国向け原木は沿岸部の在庫多く単価も軟調維持。シベリア地方は、冬場に向けて伐採進むが、例年に比べ雨が多く気温が下がらないため、搬入、集荷が遅れ、出材量は増えていない。富山新港の9月の丸太入荷は無く、原板入荷は2.7千 m^3 。在庫は2ヶ月。価格動向は、丸太はアカマツ・エゾマツ・カラマツともに横這い、製材品もアカマツ製品の入荷が減少し横這い。荷動きは丸太は変わらず、製材品は住宅資材受注減により低調、輸入品は入荷減少し多少良くなる。国内製材工場は丸太、原板とも不採算。稼動状況は採算合わず引続き生産調整。受注状況は特殊サイズでの受注生産、注文材も激減。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、針葉樹合板減産の中でスギ、カラマツとも強含みで推移。外材は、米材、ロシア材、南洋材とも強含みのところに円安が加わり、コストアップは避けられない状況。8月の国内合板生産量21.3万 m^3 のうち針葉樹合板は19.9万 m^3 で、出荷量は19.3万 m^3 。生産量は減少したが依然出荷量を上回り、在庫量はさらに増え23.1万 m^3 となった。販売価格は、10月に入り減産効果が出るとの見方が一部あるが、現在の需要状況、在庫量などから、値戻しには今暫く時間がかかるとの見方多い。

国産針葉樹合板の荷動きは、相変わらず低調で当用買いのムードが蔓延。メーカーの強気姿勢は不変だが、減産効果が全く出てない中で、出荷量が生産量を下回り、相場は弱保合で推移。輸入合板は9月中旬より円安の影響からコストアップが顕著となり、同時に12mm系の市況品を中心に荷動きも活発な状況。先行き、針葉樹合板は今後暫くは値戻しの綱引き状態が続き、輸入合板は今後

も価格は強めでの推移が予想される。流通在庫は、国内合板は潤沢、輸入合板は一部アイテムで品薄感。針葉樹合板 12mm の荷余り感続く。

6. 構造用集成材

原料ラミナの 9 月入港は少なく、ラミナの在庫調整が進む。12 月にかけて低レベルでの入荷予定。国産集成材の受注は、9 月は順調で在庫量も減少。販売・荷動きも順調。販売先行きは、大手ハウスメーカーの受注予定があり、10-11 月は順調。ハウスメーカーの受注は昨年比 80%程度なので、来年度は厳しい状況と予測。在庫は予想以上の荷動きから減少。輸入集成材は商社の売込み続く中で在庫多い。コスト高で内外価格差が減少し売りは低調。10 月までは順調に入港するが、第 4 四半期の契約は減少の様相。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ、ヒノキとも動き鈍く、少量のリフォーム需要は続くが、まとまった大口需要少なく問屋は苦慮。造作材も構造材と同様リフォーム需要の小動きは続くが、新規物件なく全体の動き悪い。米マツ等外材の構造材は、急激な円安で先行き価格の上昇が予想されるも荷動きは悪い。造作材はスプルー、米ヒバ等の建具用、建築用の良材入荷は少ないが、需要も少ないのでつり合い取れている。ここにきて買い方の手持ち仕事量が少ないため、市日の来場者数も減少傾向。買い方の思惑買いも減り必要当用買いに徹している。月を追う毎に景況感は悪くなっているようで、期待された秋需も空振りに終わりそうな様子。

8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木弱保合、米ツガ KD 角、平割、SPF いずれも保合。造作材はスプルー良材保合、ナラ・タモ保合。集成材は WW、RW 梁、柱とも弱保合。合板は針葉樹、ラワンともに保合。床板・フロア材保合。プレカットの各工場とも受注は回復していない。町場工務店は、年末にかけて一般住宅の新築や幼稚園等の新築・改築の仕事が多くなっている。

10月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↗	→	↗
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

↑ 急増・急上昇
 ↗ 増加・上昇
 → 横ばい
 ↘ 減少・低下
 ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材(3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
	東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド' 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド' ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド' 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗